



▲写真1



◀写真2

茂串海水浴場は、天草下島を代表する天然の海水浴場の一つで、景色の良さから映画などの

ロケ地として利用されたことがあります。

訪れたことがある人は、「駐車場から海に向かって階段を降りたけど、黒い岩だらけ…。砂浜はどこ？」と思ったのではないのでしょうか。半信半疑で2つほど岩の高まりを超えると、広い砂浜にようやくたどり着きます（写真1）。この黒い岩の正体を知っていますか。

これは、「坂瀬川層」とよばれる3,800万年前の深い海で堆積した地層で、学術的に重要な化石や有用な岩石が見つっています。化石は、ウニ類が多く、他にもこの地層から見つかった標本で「ハンニャガニ」と和名の付いたカニ化石なども知られています。また、砂浜では、通称「まぐろ石」と呼ばれる熱で変成した黒色泥岩の小石（写真2）を見ることができます。

茂串海水浴場は周りの地層が黒色のため、砂浜の砂がより白く強調されます。そして、東シナ海の青い海とのコントラストはとても美しく、異国情緒あふれる雰囲気を楽しむこともできます。

美しい風景とともに、地質にもぜひ注目してみてください。

天草市には、考古学や古生物学などの専門的知識を持つ学芸員がいます。その学芸員が、天草の歴史や自然などに関するイチオシを紹介します。

学芸員のイチオシ

御所浦恐竜の島博物館
鶴飼 宏明

故郷のために全力で

1年目は、旧天草市起業創業・中小企業支援センター（アマビズ）で、センター長とともに相談対応を行い、起業や中小企業の支援を行いました。

2年目からは、福岡に本社を置き、天草市に企業進出した（株）パラボに企業派遣研修修習員として入社。北浜町にオープンしたワーケーションオフィス「パラボ天草」で、施設の管理や、市と連携して企業誘致に取り組んでいます。パラボでは、福岡市の天神と天草の経営者同士の交流を促進するため、天草の企業と共催で異業種交流イベント「天草界」も開催しています。



はやと 渡邊 隼 さん
配属先 パラボ天草

ー プロフィール ー

栖本町出身。大学卒業後は東京のIT企業でシステムエンジニアとして経験を積む。東京からふるさとを生きづけて、天草の出身者やファンが集い活動する「天草元気プロジェクト」でイベントの企画・運営に携わる。趣味は釣り。令和4年4月から協力隊員。



▲スタートアップ・あまくさ



▲パラボ天草

また、アマビズの後継窓口として開設された起業・新規事業の相談窓口「スタートアップ・あまくさ」では、中小企業診断士と相談対応を行い、市内商工団体や金融機関と連携して事業者のサポートを行っています。天草にUターンして丸2年が経ち、日々地元のすばらしさを感じています。一方で、人口減少により、近い将来に消滅の可能性がある「消滅可能性自治体」に、天草市が該当しているのも現実です。自分の故郷を守り、天草が持続的に繁栄していくためにも、私自身ができることに全力で取り組み、地元「恩返し」をしています。

天草のおいしい食材を使って みんなを笑顔に

最近では、地方の食材と歴史を関連付けた料理が増えており、自分の店を持ちたいと考えたときに、都市部より地方の方がおもしろそうだと思っていました。妻が天草市出身で、訪れた際の雰囲気や良き、食材を仕入れるつながりが欲しいと思って、たところ協力隊員の募集を見つけ、応募しました。天草は食材がすぐ目の前で取れるため新鮮で、四方を海で囲まれていることから、魚の多様性もある貴重場所だと思います。協力隊としては、天草漁協で商品やメニューの開発、市場の競りのようにSNSにアップ

したり、天草で取れる魚を使ったレシピを毎月漁協ホームページに掲載したりしています。また、崎津のきんつ市場で地元の人と意見交換などを行い、地域活性化に向けた活動もしています。その他にも、天草の食文化を調査したり、みづばちラジオでは、天草で取れる食材やレシピの解説を行ったりしています。天草の食文化には、世間的には知られていないものでも、良いものがたくさんあります。それを料理で発信し、地域の皆さんが気付いていない魅力を広げていきたいです。



けいた 宮崎 恵太 さん
配属先 天草漁業協同組合

ー プロフィール ー

千葉県出身。主に東京の飲食店で料理人として、フランス・スペイン・バスク料理を手掛ける。趣味は園芸。令和5年9月から協力隊員。



▲天草「春の恵み」の便り
【花ズッキーニ 緋扇貝のムース 烏賊、貝、雲丹、海老、筍のタルタル】

◀天草の食材で作った料理をInstagramで公開中

地域おこし協力隊とは、都市住民を受け入れて隊員として委嘱し、1〜3年の期間で、農林水産業やデジタル、空き家利活用などの活動しながら、定住・定着を図る総務省の取り組みです。このコーナーでは、本市で活動している隊員を紹介します。



◀隊員の募集情報

天草 見どころ図鑑



白鶴浜の松林（天草町高浜）

全長1.3kmにも及ぶ白鶴浜に広がる松林は、古くから白砂青松※の景勝地として知られ、「日本の白砂青松100選」に選定されています。

歌人の与謝野晶子は、夫の鉄幹と共に高浜を訪れた際、「天草の西高浜のしろき磯 江蘇省より秋風ぞ吹く」という歌を残しています。与謝野夫妻も白鶴浜の松林を散策しながら、この歌を詠んだのかもしれません。

※白い砂浜に青々とした松林が続く海岸線のこと

★ここに注目

与謝野夫妻が詠んだ歌は、十三仏公園展望所にある歌碑に記されています。

